

ふりがな 氏名	いなぎ しんじ 稲木 真司	職名	准教授
取得学位	音楽博士(DMA)	学会での受賞歴	特記事項なし
主な担当科目	音楽科教育法、音楽演習		
所属学会	日本音楽教育学会、日本音楽表現学会(編集委員)、国際コダーイ協会理事、日本コダーイ協会(学会誌編集委員)		

◆ 教育業績

事項	実施年月(日)	概要
学生の指導案の作成方法に関する授業外指導 採用試験のための実技指導	平成 29 年 4 月～ 平成 29 年 7 月 毎週 4 時間程度	「音楽科教育法」における模擬授業のための指導案の細かな内容についての指導を行った。3 月に新しい指導要領が告示されたので、その内容も踏まえた指導を行った。
	平成 30 年 4 月～ 平成 30 年 7 月 毎週 4 時間程度	小学校実習に出る児童教育学専攻 3 年生のために、音楽科の指導案の書き方の個人指導を行った。現在は新しい学習指導要領への移行期のため、新しくなった内容を学生が理解できるように配慮した。
	平成 31 年 4 月～ 令和元年 7 月 毎週 4 時間程度	児童教育学科児童教育学専攻の学生が受講する「音楽科教育法」における模擬授業のために、上記以外にも ICT を授業に取り入れた授業の実践法の指導を行った。
	令和 2 年 4 月～ 令和 2 年 7 月 毎週 4 時間程度	児童教育学科児童教育学専攻の学生の小学校実習のために必要な個別の学生に対する教材の準備方法や指導案の添削などの指導を行った。
	令和 3 年 4 月～ 令和 3 年 7 月 毎週 4 時間程度	「音楽科教育法」を履修している学生を対象に、授業教材の選び方、準備の方法、また指導案の作成について個別指導を行った。
	平成 29 年 5 月～ 平成 29 年 10 月	小学校教員志望の学生には教員採用試験の実技対策指導、保育・幼児教育志望の学生には、公務員試験における実技指導の対策を個別に行った。
	平成 30 年 5 月～ 平成 30 年 12 月	一般に言われる「音痴」だと思い込んでいる学生でも、必ず音程が取れるようになる。授業時間外での個別指導を実施した。
令和元年 5 月～ 令和元年 12 月	各都道府県の教員採用試験や就職/採用試験のためのピアノや弾き歌い実技の指導を行った。地方自治体や園、学校によってそれぞれ特徴があり、一般的な指導では十分ではないため、各自治体に分かれて実施。	
令和 2 年 12 月～ 令和 3 年 2 月	各都道府県の教員採用試験や就職/採用試験のためのピアノや弾き歌い実技の指導を行った。地方自治体や園、学校によってそれぞれ特徴があり、一般的な指導では十分ではないため、各自治体に分かれて実施。本年度は楽典の指導も行った。	

事 項	実 施 年月(日)	概 要
<p>オンラインでの遠隔授業</p> <p>歌唱を不得意とする学生のための個人指導</p> <p>コミュニティー合唱団の指導</p> <p>オンライン・バーチャル合唱</p>	令和3年5月～ 令和3年10月	教員採用試験および保育職の公務員試験を受ける学生を対象に、実技試験の対策として、個別に弾き歌いや伴奏の指導を行った。
	令和2年7月	コロナ禍により対面授業が難しくなったため、「音楽科教育法」の模擬授業をオンラインにより開催した。
	令和3年2月～ 令和3年3月	幼稚園・保育園および小学校の保育・教育現場において必要な歌唱力をつけるために、授業外において個人歌唱レッスンをを行った。音程を正しく取ることを苦手とする学生がかなり正確な音程で歌えるようになった。
	平成31年1月～ 令和2年2月	「Voce Sacris」というコミュニティー合唱団を立ち上げ、主に賛美歌や聖歌などを題材に、ハンドサインやソルミゼーションを取り入れながら純正で響くハーモニーを作り出す訓練を行った。
	令和2年2月16日	大阪の少年少女合唱団「カラフル」の合唱指導を行った。特にハンドサインやソルミゼーションを用いて読譜やハーモニーの組み立て方の指導を行った。
	令和2年 5月12日公開	「The First Vision」の日本語訳の歌詞を字幕としてつけて、学習用ビデオを作成した。
	令和2年 6月17日公開	「If We Love Him」の日本語版を用いて、成人対象のバーチャル合唱を行った。 https://youtu.be/88w0LUivi3g
令和2年11月1日 公開	「主のもとへ」を題材に、成人対象のバーチャル合唱を行った。 https://youtu.be/s2UMj-FSFBs	
令和3年 10月30日公開	「Restored」という英語の歌を日本語に翻訳し、混声四部合唱に編曲した。「回復から」という日本語タイトルで、成人対象のバーチャル合唱を行った。 https://youtu.be/_PK_EraUjkl	
令和4年 2月26日公開	「In That Holy Place」という英語の歌を日本語に翻訳し、混声三部合唱に編曲した。「神の宮」という日本語タイトルで、成人対象のバーチャル合唱を行った。 https://youtu.be/lmalkVWQgaw	
名古屋市土曜学習プログラム 「オリジナルのラップを作ろう」	平成29年12月16日	名古屋市桜小学校の1～6年の児童47人とオリジナルのラップを作る活動を行った。学年ごと5,6人のグループに分かれて、自分たちでテーマを決めて創作し、それぞれ発表を行った。
	平成30年10月27日	名古屋市立川中小学校の1～6年生の児童33人とオリジナルのラップを作る活動を行った。学年ごと7つのグルー

事 項	実 施 年月(日)	概 要
	平成 30 年 12 月 15 日	プに分かれて、自分たちでテーマを決めて創作し、最後に発表を行った。 名古屋市立二城小学校の 1～6 年生の児童 36 人とオリジナルのラップを作る活動を行った。学年ごと 7 つのグループに分かれて、自分たちでテーマを決めて創作し、最後に発表を行った。
	令和元年 9 月 21 日	名古屋市立堀田小学校の 1～6 年の児童と「ダジック・アース」という 3D プロジェクトマッピングを用いた音楽鑑賞の活動を行った。鑑賞教材はホルストの組曲『惑星』。
	令和元年 11 月 2 日	名古屋市立八事小学校の 1～6 年の児童と「ダジック・アース」という 3D プロジェクトマッピングを用いた音楽鑑賞の活動を行った。鑑賞教材はホルストの組曲『惑星』。

◆ 研究業績

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
著 書	『教育・保育の学びプラス・ワン』	共	平成 29 年 12 月	三恵社	幼児にとっての「表現」と「遊び」 について述べた内容で、本書の 第 3 部の第 12 章「幼児にとつ ての『表現』と『遊び』」の部分 を担当した。子どもの表現に関 わる発達および幼児期の表現活 動を支援するための知識・技能 について説明している。 (p.149-154)
	『豊かな情操を育む音楽表現と音 楽教育のために』	共	平成 30 年 1 月	鳴海出版	保育士、幼稚園教諭、小学校教 諭になる学生が、幼児とともに音 楽活動を行ったり、児童に音楽 を教えたりするうえで必要な知 識や技能について説明している 教科書および参考書。表現や音 楽に関する内容を細かく項目化 し、必要ときに参照できるよう になっている。 (p.135-140)

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年 月 (日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
論 文	「新しい幼稚園教育要領における 幼児の音楽表現について」	単	平成 29 年 10 月	『児童教育論集』第1号	新しい幼稚園教育要領に示され た幼児の音楽的表現に関する 内容で、新しい幼稚園教育要領 における幼児の音楽表現につ いて述べており、小学校学習指 導要領との関連についても説明 している。(p.147-154)
	「幼児の音楽表現の理解と指導」	単	平成 30 年 3 月	名古屋女子大学紀要 第 64 号「人文・社会編」	幼稚園教育要領における音楽 内容について説明し、わらべう たや童謡など子どもたちが触れ る音楽の特徴について説明して いる。それを踏まえて小学校教 育への橋渡しをどのようにする ことができるのか述べている。 (p.169-178)
	「系統性と連続性をもった音楽教 育のメソドロジーの開発—ミュージ ック・リテラシー向上のために—」	共	平成 30 年 5 月	名古屋女子大学総合科 学研究所 『総合科学研 究』第 12 号	新しい学習指導要領が施行され るうえで音楽科に必要なとなるの は、系統性と連続性をもって音 楽的内容を教えることであるが、 そのための教授法を探求する研 究論文。(p.1-6)
「新教育課程に向けた音楽カリキ ュラム構築と教育法の確立」	共	令和元年 5 月	名古屋女子大学総合科 学研究所 『総合科学研 究』第 13 号	国際的な音楽教育の流れを意 識し、新しい学習指導要領に即 した形で実践できる音楽カリキュ ラムや教育法の可能性について の研究。(p.49-57)	

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
学会発表	「コダーイ・システムの理念及び実践について」	単	平成 30 年 3 月 20 日	東京藝術大学 音楽学部第 1 ホール	コダーイ没後 50 年記念として、 在日ハンガリー大使館および東京 藝術大学より依頼を受けて、 コダーイ・ゾルターンが目指した 音楽教育について講演した。
	「学校教育の唱法問題—グローバルな視点から考える—」	共	令和元年 10 月 20 日	東京藝術大学	学校教育における唱歌指導がど のように行われているのかをパ ネルディスカッション形式でハン ガリー・台湾・イタリア・アメリカ各 国での実践法を紹介し、日本で の唱歌指導法について提言し た。(アメリカの唱歌指導法の部 分担当)
	「Skeleton Diagram of the Japanese Folk Songs」	単	令和 3 年 2 月 22 日	MAME(マレーシア音楽 教育協会)の YCA(青少 年合唱アカデミー)主催 Kodály Online Hangout	小泉文夫が提唱した日本の民 謡の音楽理論体系をもとに、柴 田南雄が提案した「骸骨図」の 紹介と、日本のわらべうたが「4 度枠」という概念で説明できるこ とを紹介した。

区分	著書・論文・発表テーマ・作品・演目などの名称	単・共	発行・発表年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏会の名称(会場名)	備考
作曲 委嘱	「心の旅路～人麻呂～」 ピアノとバリトンの歌集	単	平成 29 年 12 月 6 日	名古屋女子大学 越原記念館ホール	イギリスのバリトン Jeremy Huw Williams 氏とアメリカのピアニスト Paula Fan から委嘱された作品。柿本人麻呂の和歌にメロディーを付けて Song Cycle を創作するプロジェクトのための作品。
	「シオンの花」 合唱曲	単	平成 30 年 12 月	ティアラこうとう コンサートホール	CMA という音楽団体からテーマソング「シオンの花」の合唱曲としての作曲委嘱。
	「バラバラード」 ソロ曲	単	令和 2 年 3 月	名古屋女子大学	文字職人の杉浦誠司氏からの委嘱作品で、バラードの独唱曲。
	「Memory of Hibaku」(被爆の記憶)	単	令和 3 年 7 月 17 日	Virtual Clarinet Fest 2021 (国際クラリネット協会主催)	Csaba Jevtic-Somlai 氏からの委嘱作品で、クラリネット、ピアノ、デジタルメディアのパートで構成され、クラリネットのソロ、またはクラリネットとピアノのデュオのための作品。
演奏会	トッカータとフーガニ短調	共	令和元年 7 月 20 日	沖縄ステークセンター こけ落としコンサート	末日聖徒イエス・キリスト教会 沖縄ステークセンターの落成記念コンサートで、オープニング曲をオルガンで演奏した。
	オンラインによるコラボ演奏	共	令和 2 年 4 月	YouTube 上で公開	「うちで踊ろう」(星野源)とのコラボレーションプロジェクト。ギターの弾き語りの映像にピアノとバックコーラスを追加した。 https://youtu.be/EBH9Tbp3Ta0
		共	令和 2 年 4 月	YouTube 上で公開	「I Know He Lives」(David Archuleta)とのコラボレーションプロジェクト。ピアノの弾き語りの映像に、バックコーラスとストリングス、ピアノ、パーカッション等を追加した。 https://youtu.be/wi4KWaM7grI